

# ◆ 予算編成に

## 行政改革の反映を

### ◆ 補助金の終期設定を



今川 悟

その中で事業の検証をしています。また、予算要求調書の中で事業ごとに達成目標や達成時期及び終期などをチェックして判断しています。

補助金は調書を作成し、補助の適性や補助団体等の収支状況、活動内容、成果や必要性などをチェックし、当該補助金の今後の方向性などを考慮し判断しています。終

期設定については、本年度作成する補助金等の見直し基本方針の中で、基準や目安を明確にします。

予算編成の中で見直した事業の情報発信については、当初予算案と合わせて資料を提出できるように努めるとともに、ホームページなどを通じての情報発信を検討します。

**問** 人口減少によって今後の予算編成には大胆な改革が必要です。行財政改革アクションプランに盛り込んだ民間委託の推進、補助金の見直し基本方針について検討状況を伺います。

**答** 民間委託の新たな事業候補は、民間委託等推進ガイドラインに基づき、関係部署から提案された事業の可否を、予算編成作業の中で検討しています。事業化または予算化する段階で公表したいと考えています。

**問** 補助金等の見直し基本方針は、他自治体の事例等の情報収集や分析をしながら、年度内の作成に向けて作業を進めており、反映は令和5年度以降となる見込みです。

### ◆ 予算要求要領におい

て、開始から5年を経過する事業の検証、補助金の終期設定を求めています。成果が見えませんが、

**答** 3年前の一般質問でも指摘しましたが、その後は改善されましたか。

**答** 5年経過した事業の検証は、「主要な施策の成果に関する説明書」の様式を変更し、「成果と課題」も書き加えており、

### ◆ 唐桑半島全域の開発に向けた唐桑小原木フルインターチェンジの重要性は

### ◆ 新学習指導要領「社会に開かれた教育課程」を踏まえた、地域内協力関係組織の課題解決と

### 部局を超えた協働教育組織の具現化を



菅原 雄治

**問** 唐桑地域の2つのハーフィンターチェンジが北部への対応がなく、観光導線として機能していません。市はこの実態をしつかりと分析し、国に対しインターチェンジの改良を強く要望し早急に実現すべきと考えますが如何ですか。

**答** 本市に設置されている8カ所のハーフィンターチェンジのフルインター化は、基本的に極めてハードルの高い課題であります。国において、費用に見合う効果が得られるかの検証があり、また、整備手法にもよりますが、県費や市費の負担を伴うことが想定されることから、他の事業との

優先順位についての検討も必要と考えます。いずれにしても利用が進み、利用者の意見などが出揃ったうえで、市全体として考え方を整理していきたいと思えます。

**問** 「社会に開かれた教育課程」の実現には、地域内協力団体の課題の解決と組織の活性化ととも

に、部局を超えた協働教育組織の具現化が不可欠です。その体制を示すべきではありませんか。

**答** 課題の解決については、自主的に活動を行う団体に対し、教育委員会が一方的な指導をするのではなく、青少年育成協議会との課題共有の中で、できる

協力をしていきます。「社会に開かれた教育課程」とは、よりよい学校教育を通じてよりよい社会をつくるという目標を、学校と社会とが共有することであり、家庭・学校・地域が一体となつて子ども達を育むことを示す、新学習指導要領の理念の一つです。

それを実現する上で、PTAや青少年育成協議会等は、欠くことのできないものであると考えており、その活性化に向け、庁内に新たな部署を設けることはできませんが、市全部局の連携のもと、適切な対応をします。

# ◇ HPVワクチンの積極的

## 勧奨再開へ具体的対応を

# ◇ 少子化対策と

## 若者支援の充実を



村上 進(公)

**問** HPVワクチンの、来年4月からの積極的勧奨再開とキャッチアップ接種（注）対象者への対応について伺います。

**答** 公共施設等への給水器等の設置は、12月に開館した中央公民館に設置しており、使い捨てプラ

スチックごみ削減に対する市民意識の高まりや行動変容につながる有効な手段の一つと考えますの

で、今後研究します。**問** 人口減少対策のポイントの少子化対策と若者の支援策を伺います。

**答** 市の昨年の出生数は248人と過去最少で、この10年間で約4割以上の減少と大変厳しい状況と認識しています。そこで本市は、結婚新生活支援補助制度や特定不妊治療費及び医療費の助成、子育てタウンミーティング等、子育てにやさしいまちづくりを推進しています。

また、提案の奨学金返還支援制度は、職種に限らず、地域の産業を担う人材を確保し、地域に定着を図る制度で、多くの自治体で活用が始まっており、今後他自治体事例も参考に検討します。

# ◇ 債権の回収体制。

## マニユアル整備の進捗は

# ◇ 長期間の債権未回収と

## 債権放棄の理由は



熊谷 雅裕

**答** 令和4年度の小学6年生から中学3年生の女子学生の保護者に対し、教育委員会を通じ、現在、厚生労働省が作成しているリーフレットを配付します。高校1年生相当の年齢の女性には、郵送による個別通知を行い、市広報・ホームページ等で周知を行う予定としています。キャッチアップ接種対象者については、国の動向を注視しながら、方針が決定次第、個別通知とともに市広報・ホームページ等で速やかに周知し、対応します。

**問** 債権管理条例の施行にあたり債権の回収体制・マニユアル整備を急ぐとあったが、その整備はどのようになされてきたのかを尋ねます。

**答** 債権管理条例施行から2年経過しマニユアルが完成していないのは、市の怠慢ではありません。

**問** 債権管理条例施行が完了した今年度中の完成を目前に、現在作成中であるが、作成が困難で思うように進みませんでした。

**答** 令和2年度に放棄した債権は1739件、金額は約1244万円、前年度と比較して322件、約756万円増加しました。その一例で、住宅使用料の債権放棄、放棄理由第1号生活困窮で

債権発生日が平成13年8月から平成29年9月までの16年2カ月間未回収があります。長期間債権回収できなかった理由を尋ねます。

**答** 債務者の方の収入状況もあり、住人のセーフティーネットを考えてすぐに明け渡しが出来ませんでした。今後、出来るだけ訪問し、電話等で連絡を取りながら納付指導を行い、状況によっては生活保護等を福祉の方と相談しながら対策を進めて行きたいと思えます。

**問** 給水スポットの設置拡充について伺います。

**答** 例規に沿って示した手引きを作成し、各債権担当課において共有しています。また、（仮称）気仙沼市債権管理マニユ

**答** 債権管理マニユアルの作成は当初、各債権担当課において進めていま

たが、今年度中の完成を目前に、現在作成中であるが、作成が困難で思うように進みませんでした。

**答** 債権管理マニユアルの作成は当初、各債権担当課において進めていま

たが、今年度中の完成を目前に、現在作成中であるが、作成が困難で思うように進みませんでした。

※注…接種もれ等で、必要な回数の接種がなされていない場合に追加接種を行うこと。